

下榎交流センターだより

編集 日野町下榎交流センター
〒 689 - 4526 日野町下榎 157 番地 1
電話：7 2 - 1 1 9 1 (FAX 兼)
E-mail：rinpokan@town.tottori-hino.lg.jp

老人憩の家事業

ぽかぽか教室「認知症について考える」

12 月 11 日、下榎老人憩の家において「認知症について考える」をテーマにしたぽかぽか教室を開催しました。

講師に、” 認知症の人と家族の会 ” 代表の吉野立^{りゅう}さんを迎え、約 90 分にわたり歓談を交えながら貴重なお話を聴きました。

当日は下榎の住民をはじめ、他地区の方々、看護師や関係職員など 22 人が参加し、熱心に耳を傾けていました。

吉野さんにお話いただくのは、今回で 3 回目となりますが、毎回新たな気づきがあります。今回は特に「家族が良かれと思っている行動が、本人のやろうとする気持ちや力を奪ってしまう事がある」という話が印象に残りました。「自分の方が早くできるから」「危ないと思うから」と、結果としてつい先回りしてしまうことが本人の自立を妨げ、認知症の進行につながる場合があるという指摘に、多くの参加者が考えさせられる時間となりました。

認知症は、家族や地域が全体で理解し支えていくことが大切です。今回の講演は、認知症の方が安心して暮らせる地域づくりについて、改めて考える良い機会となりました。



～料理教室～

11 月 17 日、年内最後の料理教室を開催し、秋の味覚を使った野菜もりもりの料理を作りました。参加者とスタッフ、合計 10 人で、いつもと同じく、わいわいがやがやと楽しい料理教室となりました。

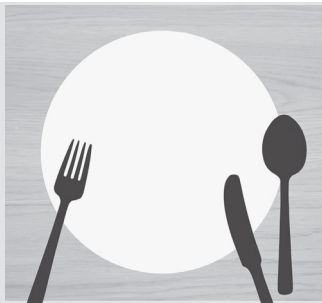
まず、町管理栄養士の森本さんからメニューとレシピの流れを簡単に説明してもらいました。その後、キッチンへ移動するとそれぞれが、拡大コピーされた手順を声に出して読み上げ、料理を開始しました。手の空いた人はすぐに補佐に回り役割を果たすなど、チームワークが良かったので、予定の時間より早く進みました。

今回のデザートは、手軽に作れるものでしたが、なかなか思いつかない材料だったので、その発想に皆さんびっくりされていました。毎回美味しさの詰まった楽しい料理教室に、皆さんの笑顔が満足度を表しているようでした。



【料理献立】

- ・キノコのまぜごはん
- ・さつまいもと豚肉のレモン醤油いため
- ・えのきとチンゲン菜のおひたし
- ・野菜たっぷり和風スープ・スイートポテト



※料理教室参加の皆さんからの希望で、令和 7 年度の締めくくりとして、令和 8 年 3 月に料理教室を行うことを決定しました！日程・メニュー等の詳細は改めて広報ひの 2 月号にてお知らせいたします。
お楽しみに！



▲飾り付けられた昭和3年の根雨中町付近

昭和年表

2年	・2年から5年にかけて、地区婦人会が設立。のち国防婦人会と改称される。	25年	・6月、朝鮮戦争勃発。特需景気が起こる。
3年	・伯備線全通（米子倉敷間）。	28年	・10月1日、日野村・根雨町合併し新根雨町。
4年	・4月、県立根雨高等女学校、日野農林学校（現日野高校）が開校。	34年	・5月1日、根雨町と黒坂町が合併し新日野町が誕生。
5年	・世界大恐慌始まる。とくに農村の不況が進行する。	36年	・4月、菅福公会堂が完成。
6年	・根雨町民・黒坂村民運動会が始まる。	38年	・2月、まれに見る豪雪。久住・小原・別所に自衛隊機により食料投下の支援。
7年	・満州事変が勃発。以後、昭和20年8月15日に至る戦時体制下の15年間は耐乏の生活を強いられる。	39年	・12月8日、黒坂に町公民館が完成する。
9年	・5月、根雨私立保育園が開設される。	40年	・1月、NHK、NKTが舟場古峠山にテレビ局を開局。
10年	・9月、室戸台風による大暴風雨。多大な被害が出る。	43年	・6月から7月にかけて集中豪雨。6橋が流失する。
11年	・山陰小学校庭球大会（由良）で黒坂小学校優勝。	45年	・9月12日、町民体育祭が日野産高グラウンドで初開催。
15年	・1月、黒坂村が町制施行により黒坂町となる。	48年	・3月、集団赤痢発生。
18年	・3月、近藤家寄贈による根雨公会堂（現歴史民俗資料館）が完成する。	49年	・12月3日、四十曲トンネルが開通。
20年	・11月、郡民の絶大な協力により、日野郡公設運動場ができる。のち県に移管され、当時の県立日野農林学校が使用した。	52年	・5月、日野町誌発刊。
18年	・6月、戦備のため金属供出が始まる。	53年	・10月、第一次オイルショック。
20年	・5月、根雨町に総武兵団が訓練のため駐在する。	59年	・12月3日、明地トンネルが開通。
20年	・子号演習始まり、多くの町民は敵上陸に備え陣地造り作業に動員される。	60年	・8月、松竹映画「八つ墓村」撮影を奥渡地区で行う。
20年	・6月21日～10月21日、兵庫県魚崎小学校の児童104人が町内の旅館などに分宿して疎開。	61年	・11月1日、町産業文化祭。6日、下榎解放文化祭開催。
20年	・8月15日、無条件降伏終戦。	64年	・4月1日、日野中学校が野田に開校。
			・10月、わかとり国体が開催。
			・9月19日、日野町歴史民俗資料館開館。
			・1月7日、昭和天皇崩御。新元号が平成に。

100年前の大正15（1926）年12月25日に大正天皇が亡くなり、翌26日ただちに昭和天皇が即位され昭和元年が始まりました。同3年12月5日には、全国で「御大典祝賀式典」が開催されました。

町内では、旧根雨小学校講堂（現山村開発センター）で、児童と校区内から参集した約600人が整列の上、ラジオから聞こえてくる全国放送を拝聴しました。根雨中町付近の飾り付けのまわりでは、着飾った人々が祝賀する様子が見えます。以来、平成を経て、去る令和7年12月26日で100年を迎えたわけです。

今回は、この間の昭和時代に限って追想します。

60年の長きにわたって続いたため、昭和の前半は戦争と戦後の後半とで、まったく様相が異なる社会でした。

日清戦争から太平洋戦争終結まで、実に町民379人が戦病死しています。まさに激動の時代でした。戦争が大きな転換点であり、前半は軍国主義、戦後は荒廃した郷土の立て直しのために各人が必死に努力した時代でした。

平和と民主主義と経済発展。文化の多様化という面では、アメリカ文化の影響を受けつつも、日本独自の文化が発展する時代です。アニメやマンガ、歌謡曲などですね。

あなたにとって昭和が良かったと思えるのはどんなところだったでしょうか。スマホが無い気楽さと健康的な暮らし。高度成長による生活の安定と活気、人情味あふれる温かい地域の人間関係、自由で面白かった文化や娯楽。伝統的な生活や食習慣。そして「みんなで子育て」といったおおらかな社会でしたね。今より明日が良くなると誰もが信じていた活力に満ち溢れていた時代ではなかったでしょうか。

やがて都会がいちばん、田舎はつまらない、という意識が蔓延しました。その結果、東京の一極集中が始まり、その傾向は深化しています。

平成を経て令和のいま、町の風景も大きく変わりました。空地を見て、元の建物や亡き人々の笑顔を懐かしく思い出し、家族や知人友人と話すことは、101年目を生きる私達に大切なことではないでしょうか。